



大分循環器病院における心臓血管外科治療

安心して手術を受けていただけるために…(2)

心臓血管外科部長

みやき やすこ

宮木 靖子

●心臓手術の成功率と術後のリハビリは車の両輪です。

私は、心臓手術を行う上でどうすれば患者様のこれから(生命予後)に貢献できるのかを医師になってからずっと考え続けてきました。19年前の研修生の頃はせっかく手術をしても元気に動き回れず仕事を辞めなければならなかったり、寝たきりになって施設に入ることになった患者様を目の当たりにして、患者様にとって手術をしたメリットがあるのか?と漠然と思っていたのを思い出します。

しかし今は、患者様の未来が今よりもより良いものになるように、手術をしなければならないと思っています。一時的に辛い思いや痛い思いをすることになるかもしれませんが、その価値はあったなと実感していただけるような治療を常に心がけています。

そのために大切なことは、手術の成功と手術後のリハビリです。

手術の成功とは、患者様の心臓の病気が治ることではありますが、手術のやり方として①心臓の病気全てを治す②手術の負担を最小限に患者様のこれからの生活に必要な部分を確実に治す の二通りがあります。

どちらの方法も正しいのですが、患者様の体力や未来を見据えて、どちらの方法でやるかをうまく判断していくことが大切です。いずれにせよ、そのためにはどんな心臓病にも対応できる心臓外科医の熟練した手術の技術と多岐にわたる経験に基づいた揺るぎない判断が必要となります。

当院では、そのような熟練した技術を持っている樋上先生を名誉院長に迎えて、その考えを踏襲しながら私が手術を行っています。そして秋満院長が率いる揺るぎない技術を持った循環器内科医との連携により、より難しい病状の患者様の治療に対応できる体制が整っています。

■ 手術後のリハビリは車の片輪です

一昔前の心臓血管外科手術では早くても手術翌朝までは人工呼吸器に繋がれ、長い場合には1週間ほど眠らされている状況でした。手術後の呼吸状態が落ち着くまでとか、心臓への負担がなくなるまでとかそのような理由だったと思いますが、とにかく食事をしたり歩いたりし始めるまでの期間が長かった気がします。しかしながら、心臓血管外科手術の技術の進歩で、特に心筋保護技術(心臓を手術している間に止めておく技術)の進歩により手術後の心臓への負担はほとんど無くなりました。つまり、手術をしてしまえば楽になった心臓はすぐに動き出すということです。昔は沢山の強心薬が術後に必要でしたが、今は手術翌朝まで強心薬

が使用されていることの方が稀になってきました。

当院での治療は、おおむね手術後すぐに麻酔を覚まし、4-5時間のうちに人工呼吸器を取り外します。その後、お話ししたり水を飲んだりしながら翌朝を迎え、朝ごはんを少し食べていただきます。翌日の午前中には、立ち上がって体重を測り部屋の中を歩くりハビリを行います。これは、40代の若い方から90歳以上の高齢の方まで特別な事情がない限り全患者様に行っていただきます。

「手術で疲れているんだから翌日ぐらいゆっくり寝かせてくれても…」と思われる方もいらっしゃると思います。しかし、手術翌日に立ち上がることは非常に重要なことなのです。まず、立つことにより踵から脳に体のバランスを司る「体性感覚」という感覚神経に刺激が入ります。また、「抗重力肢位」つまり立ち上がって歩くことで、立位や座位などの姿勢を保つ筋肉を刺激し、体のバランス能力を鍛えることができます。

手術の有無に関わらず長い入院でベッドで寝ていることが多くなると、ある日歩いてみたらフラつく、なかなか長い距離を歩けないといった事象の原因は、そういったバランス感覚が脳や筋肉から失われていることが原因の一つであると考えられます。

20歳台の方が3週間臥床していると40年間の加齢的な身体機能低下と同等の状況であると言われております。若い方でもそうであるからこそ、年齢が高くなればなるほど1日でも早くベッドから起き上がることが大切であることがわかっていただけたと思います。

さて、話を戻しますが、心臓手術においてリハビリが車の片輪である理由は分かっていたでしょうか？ さらに当院では、手術を行う前からリハビリを行なっています。呼吸訓練を行うことも大切です。一時的ではありますが胸を切る手術は手術直後に概ね肺活量が半分ぐらいに減少します。それを補ってあまりあるように肺活量を上げておく呼吸訓練をしていただく必要があります。

そして、手術前の体力評価を十分に行う必要があります。心臓が悪くて思うように動けない場合もありますし、病気はあるがなんとか生活は成り立っている場合もあります。心臓が治ったら、どこまで体力を回復できるかの予測を立てていくことが重要です。

病院はどこまで行ってもバリアフリーですが、手術が終わって家に帰るには、玄関の段差や階段を上り、風呂の湯船に入るのに跨いで入らなければならないなどなどの問題があります。そして、元気な頃は畑仕事をしていたんだとか庭仕事が趣味だったとか、心臓病だからやめてしまったことを復活させるにはどうしたら良いかを入院しているうちに一緒に考えていかなければならないと思っています。当院でのリハビリは、1週間から2週間までの間に足の筋力強化のための自転車漕ぎを開始しています。歩行が安定すれば1階分の階段昇降や病院の周りの坂道歩行も行っていきます。

自宅に帰って、心臓がよくなった元気な体で、自信を持って社会復帰したり今まで制限してきた楽しみを復活させたりできるようにお手伝いしていきたいと思っています。

■ 最後に

心臓血管外科手術を受ける患者様は命がけで手術を決意してこられます。ですから、私も患者様には「大丈夫です、安心してください」とお声がけして、いつも命がけで手術に臨んでおります。結局のところ、私たち外科医のできることは、患者様の人生のほんの少しの後押しをすることではありますが、それでも患者様の未来が今より質の高いものになるように、「患者様の為の低侵襲高品質な医療」を常に追求し実践しています。

新任ドクター紹介

- ① 座右の銘 ② 趣味 ③ 今、一番したいこと
④ 医師になった理由 ⑤ もし、医師になっていなかったら
⑥ 患者さんへ向けて一言



やない ようすけ
循環器内科部長 **柳井 陽介**

- ① 「ちりもつもれば山となる」「継続は力なり」
- ② スキューバダイビング、子守り
- ③ 海外旅行
- ④ 人のためになる職業として、一番に浮かんだ職なので
- ⑤ 公務員？
- ⑥ 3年ぶりに当院に復帰しました。専門分野は心臓・下肢血管に対するカテーテルインターベンションになります。複雑な病変でも当院であれば治療できると皆さんに期待して頂けるよう日々精進していきます。
また、近年増加し続けている心不全に対しても一人一人に対しオーダーメイドの治療ができるよう、システム作りをしていきたいと考えています。
よろしくお願ひ致します。



いしい ゆうみ
循環器内科 **石井 悠海**

- ① 継続は力なり
- ② テレビゲーム
- ③ 海外旅行(コロナが落ち着けば…)
- ④ 小さい頃、事故で大腿骨骨折をしてしまいました。入院し手術をしてもらい、今では何不自由なく生活でき、学生時代は陸上部で活躍できました。この経験から医師を目指そうと思いました
- ⑤ 建築士になり、家の設計をしてみたかったです。
- ⑥ 患者さん一人ひとりの悩みに寄り添える医師を目指しています。
気軽にご相談下さい！



ざいぜん たくと
循環器内科 **財前 拓人**

- ① 早起きは三文の徳
- ② トリニータ観戦、サイクリング、一眼レフ
- ③ キャンプ
- ④ 人の役に立つ仕事がしたかったからです。
- ⑤ 都会でサラリーマンをしながら、田舎暮らしに憧れる日々を送っているはず。
- ⑥ 一緒に最良の治療法を考えましょう。困ったことがあれば何でも気軽に相談して下さい。



あかみね こうしろう
循環器内科 **赤峰 康史郎**

- ① 座して半畳、寝て一畳
- ② 作曲
- ③ 断捨離
- ④ 正しい医学知識を学びたかったから
- ⑤ 実家の風呂屋を継ぎます
- ⑥ わかりやすい説明を心がけます。よろしくお願ひ致します。



新任ドクター紹介



おの しんぺい
循環器内科 小野 慎平

- ① 為せば成る
- ② ドライブ、野球観戦
- ③ カフェめぐり
- ④ 病気で困っている人を救いたいと思ったからです。
- ⑤ 食品関係の仕事が消防士
- ⑥ 患者さんに信頼される医師になれるよう日々精進します。よろしくお願い致します。

- ① 座右の銘
- ② 趣味
- ③ 今、一番したいこと
- ④ 医師になった理由
- ⑤ もし、医師になっていなかったら
- ⑥ 患者さんへ向けて一言



栄養のおはなし



もりさこ ひろみ
管理栄養士 森迫 浩美

減塩の取り組み

醤油や味噌をはじめ、最近減塩食品を目にする機会が増えてきました。調味料のほか、練り製品や佃煮類など商品の種類も多くなり、選択の幅が広がっています。

高血圧の予防や改善のために、減塩が大切なことは広く知られていますが、「減塩」という表現に対して「味が薄い」「美味しくなさそう」「高価」といったマイナスイメージを持つ方が多いのも事実です。企業の中には、独自に減塩を進めているところもあります。

ある大手コンビニでは、2018年より、弁当、麺類、総菜類に対し、5~30%の減塩を行っています。美味しさやボリュームを変えず、特に減塩を強調する表示もせず販売したところ、売り上げに大きな変化はなかったということです。

また、大手食品メーカーも、味を変えずに食塩相当量を約30%カットしたカップ麺を3年前に発売しています。



こういった流れの中、厚生労働省は今年3月、食品メーカーなどと協力し、減塩の食品を広めるための新たな組織を設立しました。今後、様々な減塩食品を目にする機会が増えていくと思われます。

日本人の食塩摂取量は減少傾向ではありますが、世界的にみるとまだまだ多いのが実情です。個人が減塩の意識を持つとともに、手に取る商品が減塩になっていくことで、全体の摂取量が減っていくことが期待されています。

新採用者オリエンテーション

令和4年度新採用者オリエンテーションを4月1日に開催しました。

看護部6名、放射線部1名、臨床検査部2名、計9名のスタッフが新しい仲間として加わりました。今回は途中入社の方も参加し、先輩職員から各部署の紹介、医療安全、感染対策などの研修が行われました。緊張した表情を見ていると、自分達が入職した時のことを懐かしく思い出しました。

不慣れな部分もあり、ご迷惑をおかけする事もあるかも知れませんが、新入社員一同精一杯頑張る意気込みですので、どうぞよろしくお願いいたします。



医療法人 輝心会

 大分循環器病院
Oita Cardiovascular Hospital

〒870-0837 大分市太平町4組 TEL 097-544-8800(代表) ホームページ: <http://www.oita-junkanki.jp/>

